

地歴部模試世界史 問題用紙

第1問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

第一次大戦は(①)宮殿で調印された(①)条約などの講和条約によって終戦し、ドイツは莫大な賠償金を連合国に支払うことが決定した。その後、(②)で開催された国民会議で民主的な新憲法の制定と¹大統領の選出が行われ、国家の基盤がつくられた。だが、ドイツからの賠償金支払いが滞ると²フランス・ベルギーはドイツの工業地帯を占領し、ドイツに圧力をかけた。これに対しドイツ政府は占領地の公務員にストライキを呼びかけ占領に抵抗したが、この間の給与の支払いと税収の減少によって紙幣が大量発行された結果、ドイツでは通貨の価値が暴落した。これを受けて政府はストライキを停止したが、(③)党はこれを弱腰外交だと批判し、³クーデターを実行したが失敗した。その後首相に就任した(④)は⁴新通貨を発行して通貨価値を安定させ、また、(⑤)国からの資本導入や⁵賠償金減額によって経済を立て直した。だが、1929年に発生した(⑥)がドイツに波及するとドイツ経済は壊滅状態になり、国民は国家を安定させられない議会制民主主義に失望し(③)党や(⑦)党などの反議会勢力が躍進した。

1932年の選挙では(③)党が第一党になり、33年には党首である⁶ヒトラーが首相に任命された。ヒトラー政権はオランダの元共産党員が起こした(⑧)事件を利用し共産党を弾圧、共産党の議席を剥奪し、(⑨)法によって議会の持つ立法権を政府に与え、憲法に違反する法の成立も可能とした。その後、ヒトラー政権は労働組合の解散や⁷(③)党以外の政党を解散させ、独裁体制を確立した。そして大統領が死去すると、ヒトラーは首相と大統領の権限を合わせた(⑩)に就任した。

その後ドイツは(⑪)計画によって軍需産業を拡大し、⁸公共事業や再軍備による(⑫)制の復活によって失業者を減少させた。また、国際連盟管理下にあった(⑬)地方で住民投票を実施し、編入した。その後、再軍備に対し反発したフランスはソビエト連邦と(⑭)を締結したが、イギリスはドイツと(⑮)を締結し、宥和政策を行った。

問1 ①～⑮の空欄に当てはまる語句を答えよ。

問2 下線部1について、選出された大統領は誰か。

問3 下線部2について、このことを占領された工業地帯から何というか。

問4 下線部3について、

- (1) この事件のことを発生した場所から何というか。
- (2) クーデターに失敗し、逮捕されたヒトラーが獄中で執筆した著作は何か。

問5 下線部4について、戦間期のドイツの通貨で、

- (1) ハイパーインフレが発生するまで使われていた通貨
- (2) ハイパーインフレを抑えるための臨時通貨

(3) その後発行された新しい通貨
は何か、それぞれ答えよ。

問6 下線部5について、

(1) 資本投下によってドイツ経済を復興させ、賠償金を支払うという賠償案を何という
か。

(2) またその後の賠償金を減額し、支払期限を緩和するという案を何というか。

問7 下線部6について、ヒトラーを首相に任命した、第一次世界大戦でロシア軍に勝利し国民的
英雄となった人物は誰か。

問8 下線部7について、単一政党だけが認められ、国家権力を独裁的に掌握している体制のこ
とを何体制というか。

問9 下線部8の2つ以外に、数値上の失業率の減少にも効果を出した、戦間期ヒトラー政権の女
性に関する政策とその目的について3行で述べよ。

第2問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

7世紀から13世紀にわたっての北インドの分裂時代は(①)時代と呼ばれる。玄奘を迎えたこと
で知られる(②)の死後、(②)の王朝である北インドの(③)朝の滅亡によって始まったとされる。

(①)時代は現在のアフガニスタンにて起こったイスラーム教の国である(④)朝や(⑤)朝の侵入
により終焉を迎えた。1206年、(⑤)朝に仕えていた(⑥)により北インドにデリースルターン朝の
初期の王朝である奴隷王朝が建国された。デリースルターン朝の3番目の王朝の時期には(⑦)に
よってデリーが占領された。デリースルターン朝の下で一時期は南インドが支配されたこともあり
イスラーム教がインド全域に広まった。これは、インド全土を支配するイスラーム教国であるムガル
帝国建国に繋がった。ムガル帝国の建国者は(⑦)の子孫を自称する(⑧)であった。ムガル帝国3
代目の皇帝である(⑨)は位階制度である(⑩)制や位階に合わせて官僚に徴税権を与える(⑪)制
を施行した。ムガル帝国は(⑨)から五代目皇帝である(⑫)までの治世の間に最盛期を迎えたが、
ムガル帝国6代目の皇帝である(⑬)が非イスラーム教徒に対するジズヤを復活させたことで、ヒ
ンドゥー勢力の離反を招いた。この後も、ムガル帝国は弱体化を続け、インドを植民地化しようと試
みるイギリスによって滅亡することとなる。

問1 ①から⑬の空欄に当てはまる語句を答えよ。

問2 ムガル帝国ではインド＝イスラーム文化が発展した。インド＝イスラーム文化の内容につい
て次の語句を用いて3行で述べよ。

ミニアチュール、タージ＝マハル

問3 インドは古来より多宗教の地域であり、それはしばしば国内の分断を招いた。インドにおけ
る宗教について述べた次の文に対し、あてはまる宗教を答えよ。

(1) ヒンドゥー教とイスラーム教の融合を説いたナーナクによって創始された。

- (2) バラモン教における司祭の権威主義やヴァルナ制を否定する。ヴァルダマーナによって創始された。

問4 サミンダーリ制とライヤットワーリー制の違いを2行で述べよ。

第3問 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

ローマ帝国の源流となった王政ローマは(①)と(②)の兄弟によって作られたと言われる。前509年にエトルリア人の王だった(③)を追い出してブルータス(カエサルを暗殺したブルータスの祖先)らが共和政ローマを築いた。ローマ共和政の前半は貴族(ノビレス)と平民(プレブス)の対立の時代であった。前494年の(④)やその後に制定された3つの法によって貴族と平民の対立はおおむねおさまったが、後半には代わって平民派と閥族派の対立が発生した。(⑤)を筆頭とする平民派と(⑥)を筆頭とする閥族派の対立の結果(⑥)の独裁が始まった。(6)の死後、三頭政治を経てローマは帝政へと移行する。五賢帝の1人である(⑦)帝の時代にローマは最大版図を達成した。しかし、五賢帝最後の皇帝マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝の時代にはゲルマン人の侵入が相次ぐなど綻び始めていた。後の軍人皇帝時代を経て、さらに帝国は弱体化した。コンスタンティヌス帝によって都がコンスタンティノーブルに移され、帝国の中心は東へと移った。4世紀末のテオドシウス帝の没後、帝国は東西に二分され、その後も数世紀にわたって続いた東ローマ帝国(ビザンツ帝国)とは対照的に西ローマ帝国は(⑧)年に滅びた。

問1 ①から⑧の空欄に当てはまる語句を答えよ。

問2 ローマにおいて市民兵から職業軍人制への変化となった原因について3行で記述せよ。

問3 ローマ帝国の文化についての次の問いに答えよ。

(1) ローマ史の著者は誰か。

(2) マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝が実践したことで知られる哲学の創始者は誰か。

問4 ローマ帝国ではシルクロードや海の道を用いた交易が盛んであった。そのことについて次の問いに答えよ。

(1) インド洋における季節風貿易について一世紀半ばにギリシア人によって記されたことで知られる本の名前は何か。

(2) 班超の部下で班超によってローマ帝国に派遣されたとされる人物は誰か。

問5 以下の出来事を起こった順番に並べよ。

ア ニケーア公会議

イ ハドリアヌスの城壁の建造

ウ テトラルキアの開始

エ ローマ帝国のキリスト教の国教化

第4問 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

960年、(①)が五代十国の騒乱を終わらせたのちに宋を建国した。宋は中央集権的な政府を目指した。唐代に設けられた尚書省・中書省・門下省の三省を改め、中書省と門下省を合体させて中書門下省を設けた。また、科挙制度の発達により知識人層であった(②)が発達した。また、宋の治世下で商工業者の組合である(③)や(④)が作られた。また、宋で(⑤)と呼ばれたムスリム商人らによって交易も発展した。しかし、異民族の侵入により宗は衰退していく。1004年には遼との間に(⑥)、1044年には西夏との間に(⑦)を結んだ。その両方が宋への財政的負担となった。財政的窮地に陥った宋の再建のために(⑧)が「(⑧)の改革」と呼ばれる一連の改革を試みたが、それに反対する旧法党との間の対立を招き、結果としてそれはさらなる衰退へとつながった。1127年には(⑨)により遼に代わって台頭した金によって宗は滅亡した。宋の皇族の一部が(⑩)を首都とする南宋を建国するが、のちにモンゴル帝国によって滅ぼされた。モンゴル帝国改め元による(⑪)と呼ばれる駅伝制や、新通貨(⑫)の発行によりさらに中国は経済的に成長していった。元の(⑬)仏教の保護や宮廷での豪華な生活は財政難を招き、社会不安へとつながった。(⑭)教を中心として始まった紅巾の乱の中で(⑮)が台頭し、(⑮)は明を建国し、元は滅亡した。

問1 ①から⑮の空欄に当てはまる語句を答えよ。

問2 ⑧の人物は唐宋八大家の1人に数えられている。唐宋八大家の残り7人のうち3人を答えよ。

問3 ⑧の改革について述べた以下のア～ウの文について正誤を判定し、正しいければ○、誤っていれば×と答えよ。

ア 保馬法は政府が農民に馬を貸し与え、平時はそれを農耕馬に、戦時は軍馬とするというものだった。

イ 青苗法は税として集めた種粃を春の植え付け時期に貸し付け、秋に利子をつけて返させるというものだった。

ウ 平準法と共に実施された均輸法によって地方の特産物などの余っている地域から強制的に貢納させ、それを不足するところに運んで安く売ることによって物価の均等化を図った。

問4 宋の時代には蘇湖（江浙）で穀物生産が盛んとなり、「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」と言われたが、明代には「湖広熟すれば天下足る」と言われるようになったように穀物生産の中心地が移った。この原因及び二つの用語の示す状況について、以下の語句を用いて5行で述べよ。

絹、占城稻、長江、二期作